

事業報告書 (HP 報告用)

性の多様性に関する講座

「まわりとちがってもだいじょうぶ～LGBT・いろいろな性～」	
実施日	<p>令和7年10月16日（木）</p> <p>3校時 10:20～11:05 講話（3・4年生）</p> <p>4校時 11:15～12:00 演習（4年生）</p> <p>5校時 13:10～13:55 講話（5・6年生）</p> <p>6校時 14:05～14:50 演習（5・6年生）</p>
目的	<p>人がどのような性を生きるか、どのような性を愛し、愛さないかなどの性のありようは、個々の人権として尊重されるものであるが、多様な性に関する現代社会の無関心・無理解により、差別や偏見にさらされ、生きづらさを感じたり、ありのままに生きられず、時に、命まで失ってしまう事もある。</p> <p>今回の講座は、小学校からの講師派遣依頼に基づくものであるが、依頼内容が性の多様性への理解を深め、互いの個性を認めあい、すべての児童が自分らしく過ごせる学校生活を目指すことを目的としているため「性の多様性に関する講座（出前講座）」として開催する。（「第6次沖縄県男女共同参画計画～DEIGOプラン～」4-2）</p>
対象	沖縄市立安慶田小学校 4～6年生
主催	沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団
講師	竹内 清文氏（NPO法人レインボーハート okinawa 理事長）
開催場所	沖縄市立安慶田小学校 3階広場
受講者数	合計270名（3年生：73名、4年生：75名、5年生：65名、6年生：57名）
講演内容 （概要）	<p>講師は、3～6年生を対象として、3年生には講話のみを、4～6年生には講話とワークを行った。</p> <p>3・4年生「まわりとちがってもだいじょうぶ」</p> <p>5・6年生「まわりとちがってもだいじょうぶ～LGBT・いろいろな性」</p> <p>【3・4年生への講話より】</p> <p>沖縄県内の小中高校などを対象にLGBT・性の多様性に関する講演を行っている講師は安慶田小学校が579校目の開催であるとして話し始めた。</p> <p>自己紹介では、東京オリンピックの際、聖火ランナーとして走った時の聖火トーチを見せたり、自分の出身や仕事について話し、整理整頓の本を書いたこと、整理整頓はこころの整理もできることなどを伝え、こどもたちはすぐに講師「きよちゃん」に親近感を感じている様子であった。</p> <p>次に講師は、一番伝えたい大切なことを最初に話すとして3つのことをあげた。</p> <p>①まわりとちがってもだいじょうぶ</p> <p>②好きなことはたからもの</p> <p>③みんなが大切な人です</p> <p>自分はピンク色が好きなので、自分らしいピンク色の洋服で来た。女だから女らしい恰好、男だから男らしい恰好をする必要はなく自分らしくいることが大切であり、男らしく、女らしくではなく自分らしくが大切であると伝えてから、講師はこどもたちに6つの絵を見せ、なにか好きかを聞いた。「野球」「お花」「お勉強」「釣り」「絵を描く」「音楽や歌」。続いて「赤」「ピンク」「黄色」「紫」「オレンジ」「青」「黒」</p>

講演内容
(概要)

「緑」「白」のどの色が好きかをこどもたちに聞いた。好きなもの、好きな色に手を挙げたこどもたちは、まわりの人は同じところに手をあげていないこと、男子の中にもピンクが好きと手を挙げる人がいることなどを講師と一緒に確認し、「好きなこと、好きな色はひとりひとりちがう」ことを体感した。

講師は、「ひとりひとりが好きなことは宝物なので大切にしてほしい」と述べ、エプロンのポケットの刺繍をほめられ、女子とあやとりや折り紙で遊んでいた35年前の小学生時代の家庭科室で撮った自分の写真を紹介した。

5・6年生の頃の講師は、地域のソフトボールの少年団に入れられ、男子の元気良い挨拶が怖くて仮病で練習を休んだりしていたが、その辛さを父親に言ったら「周りの男子がみんなやっているからやりなさい」「清文も男子だろ」と叱られたこと、6年の時に同級生男子に「清ちゃんだけ変だ」と言われて辛かったこと、ヘンと言われたくないと思い男らしくしなくちゃと思っていたことを話し始めた。

本当に困ったけれど誰にも相談できず、「周りのともだちみんなができていて自分だけができないのは自分が悪い」と何年も思い続け、一番悩んでいた高校生の時はお風呂でひとりになると鏡で自分の目をみて「男らしくなるぞ。直すぞ、直すぞ、直すぞ!」と自分に魔法をかけていたと辛い思い出を語り、こどもたちも心配そうに話に聞き入っていた。

講師は、その後いろいろなところに住んで、特に外国で仕事をする事で自分の考え方がずいぶん変わったと伝え、こどもたちも安心の表情を浮かべた。





女の子で仮面ライダーが好きなひとがいたり、女の子と遊ぶ方が好きな男の子もいたり、同じ小学生でも顔や声はひとりひとりみんな違うようにひとりひとり違っていてもあたりまえなので周りとはちがってもだいじょうぶ。自分は「直さなきゃ」と思ってしまっていたけれどそんな必要はなく、好きなことは宝物。ひとりひとりにあるあなただけの宝物なので大切にしてほしいこと、みんなが大切な人なので、いろいろなともだちが自分と同じでも自分と違っていても大切に接してほしい。いろいろな色がある虹を表す「レインボーフラッグ」はまわりと違っていてもだいじょうぶ、自分らしさを大切にしようという意味の旗であると説明した。

最後に講師は、女の子と男の子のちがいには4つの「ものさし」と説明。

- ①体のものさし
- ②心のものさし
- ③見た目や話し方のものさし
- ④好きになる人のものさし

①体のものさしと②心のものさしがちがう人（トランスジェンダー）の中にはトイレに困っている人がいて、4人に1人はトイレを我慢しすぎて病気になってしまっている。男女でトイレを分けない「誰でもトイレ」は本当に大切であること、世界では39の国で男の人同士、女性同士で結婚でき、日本語で「結婚」と検索すると男性と女性の写真が出てくるが、英語で「marriage（結婚）」と検索すると男性同士、女性同士の写真も出てくることなどを紹介した。

講師は、こどもたちにこの4つのものさしは自分らしさを考えるヒントに使ってほしいが、これからもし、このものさしのことで困ることがあれば、特に中学生、高校生になってからも困ったら絶対にひとりで悩まないで信頼できる大人に困っていると伝えてほしいと伝え、あなたの自分らしさがあるように周りのおともだちにも自分らしさがある。あなたの自分らしさを大切にするだけでなく周りのおともだちの自分らしさも大切にしてくださいとして講話をしめくくりこどもたちは大きな拍手を送っていた。

<p>講演内容 (概要)</p>	<p>【4年生ワーク】 最初に講師は、「世界中から優秀な人を集めている Google では研究の結果「いい仕事ができるチームは“安心”して意見が言えるチームである」ことを発見したと紹介し、ワークの時はこのことに気を付けて他のひとの考えをしっかりと聞いてほしいと伝えた。</p> <p>ワーク1「認める」ってどういうこと？ 講師は、「認める」という言葉は「相手を認める」「認め合う」「自分を認める」といった使い方をするけれどそもそもどういうことなのかと4年生に尋ねた。昔の清ちゃんは自分を認めていなかったし、周りの友だちも清ちゃんを認めていなかったことを一緒に確認した上で、こどもたちは「認める」とはどういうことかを最初は自分で考え、グループ内で発表し他の人の意見をメモにとり、自分たちのグループでは出なかった意見を他のグループの普段あまり話さない人から3つ集め、自分のグループに戻ってそれを発表するというワークを行った。</p> <p>ワーク2「十人十色の学校」ってどんな学校だろう 「十人十色」とは「ひとりひとりの考えや個性が違うこと」であることを説明し、こどもたちはワークシートに自分の考えを書いたものをハート形のカードに書き写してお互いにハートカードを見せ合いながら自分の考えを発表した。</p> <p>最後に講師は、「講話とワークでいろいろ話したけれど、まわりとちがってもだいじょうぶなのでひとりひとりの自分らしさを大切にしてください」とくりかえし伝え、講演会は終了。その後の休憩時間には大勢のこどもに囲まれる講師の姿があった。</p> <p>【5・6年生への講話とワーク】 講師は、テーマは同じであるものの、ワークシートの内容、講話の構成、言葉遣い等を大きく変え、またLGBTの言葉の説明なども交えて高学年向けの講話とワークを実施した。5・6年生は高学年らしくお互いが安全に発言できるように配慮しながら積極的にグループワークを行った。</p>
<p>参加者の声</p>	<p>(5・6年生の感想より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しを聞いて、男らしく女らしくじゃなくて自分らしくが大切なんだと知りました。そしてチームがうまくいくためには安心がたいせつなんだとわかりました。あとLGBTの意味がわかりました。 ・LGBTのじゅぎょうをうけて、女らしく、男らしくではなく、自分らしくがいちばんたいせつなんだとわかりました。これからはホモ、オカマという差別語を使わないようにします。 ・講演を聞いて、LGTBの方は身近にいるということを知って、おどろきました。たまに、ニュースなどで女性同士で結婚したり、男性同士で結婚している人の特集をやっていて、自分にはまったく関係ないと思いながら見ていました。でも、沖縄市には約7000人もLGBTの方がいると知って、私たちの学校にもいるのかなと思いました。LGBTの方が気軽になやみを相談できる、安心安全な学校を私もつくりたいと思いました。
<p>写真</p>	<div>     </div> <p>児童手作りの横幕 竹内 清文氏 講座の様子</p>

